

魔法の宿題 プロジェクト 活動報告書

報告者氏名: 竹内 良太 所属: 大阪府立岸和田支援学校 記録日: 2016年 2月 8日

キーワード: 「病弱」「教科学習」「生徒の体調に合わせた学習機会の保障」

【対象児の情報】

・学年

高等部3年の男子生徒

・障害名

慢性循環器系疾患(病弱)

・障害と困難の内容

一般中学校を卒業後、本校高等部に入学した3年生の男子生徒。慢性疾患を患っており、常時の投薬、酸素療法を行っており、運動制限がある。標準カリキュラムを履修可能であるが、中学校在学時より体調管理が困難であり、継続的な登校ができなかった。そのため、中学校の学習内容も欠席が多かった時期の学習は不十分であり、理解度にムラがある。本校高等部での学習内容は中学校における学習内容の補充を中心とした下学年適用のカリキュラムである。高等部へ入学後も体調は不安定であり、欠席が多い。本人の学習意欲は高く、将来的には大学進学(通信制大学を含む)も視野に入れて自己の体調に応じた進路を選択するために、卒業後は自宅や福祉施設等で本校のアフターケアや家庭教師等のサポートを受けながら学習を継続することを希望している。

【活動目的】

・当初のねらい

(学習目標)

継続して欠席時の学習内容のフォローを受け、自己学習を行うことにより高等部卒業までの1年間で中学校の学習内容である語彙、文法の知識を確立し、4技能をバランスよく習得して卒業後に大学進学を視野に入れた学習を継続するための基礎を固める。

また、iPadを活用して自己に必要な情報を収集し、通信機能等を利用して他者とコミュニケーションをとる方法を習得することにより、卒業後の生活において自己学習をし、必要なサポートを自ら他者に求めることができるようになるための基礎的素養を身につける。

(学習目標達成のための ICT 活用計画)

(1)欠席時の授業参加:体調が安定せず欠席をした授業のフォローをテレビ電話アプリを活用した遠隔授業や電子メール等を用いた学習課題(練習問題等)の送付及びその添削により行う。

(2)自己学習による全体の学習量の補充:語彙と構文の知識を定着させるための自己学習をiPadの英語学習アプリを活用することにより継続して行う。

(3)多様な相手と英語によるコミュニケーションを図る機会の確保:iPadを用いて本校が派遣を受けているネイティブ・スピーカーや本校の英語科教員などと日常的に英語メールのやりとりを行うことで、英語の語彙力、表現力の向上につなげる。

(4)教員や仲間とのつながりを維持するためのサポートシステムの確立:登校が安定しない状況において家庭学習を継続していく上で、教科担当やHR担任等の教員、クラスの友達等とBy Talk等を用いてつながりを持ち、必要時、気軽にコミュニケーションがとれる体制をつくる。

・実施期間

平成27年5月1日～平成27年12月22日

・実施者

高等部教諭 竹内 良太

・実施者と対象生徒の関係

英語担当(週2回 英語の授業を担当)

【活動内容と対象生徒の変化】

・対象生徒の事前の状況

英語力は語彙、文法共に中1レベルをおおまかに理解しており、同レベル程度の英文を自力でおおまかに内容把握ができる。しかし、中1相当の内容でも理解度にはムラがあり、それ以上の学年相当の内容でも理解している項目もある。

昨年度に引き続き、体調が安定せず、英語授業への出席頻度は低い。昨年度は授業内容について継続的な学習ができず、出席時も授業内での活動の参加に支障があり、継続学習が困難なため学力の向上もあまり見られなかった。

・活動の具体的内容

(1) 欠席時の学習フォロー

欠席時の授業課題を電子メールで送付し、自宅でそれに取り組んだものを返信し、教員がそれを添削して再度送信することで学習フォローを実施した。

【具体例】 ネイティブ・スピーカーが来校してコミュニケーション学習を行う授業を行った際、それに向けて、事前の授業では英語での自己紹介原稿や質問事項を考える学習を実施したが、当該生徒は一度も出席できなかった。しかし、電子メールによるやりとりで原稿の作成、添削が実施できていたことで、当日出席できた際には他の生徒と同様に、授業に参加することができた。

My name is ○○○○.
I'm 18 years old.
I live in Japan.
I love Anime and Pc game.
My favorite Anime is index
My favorite Pc game is league of legends
Let's talk about them!

対象生徒が教員との電子メールのやりとりにより事前に作成した自己紹介原稿



事前に電子メールのやりとりにより作成した原稿をもとにネイティブ・スピーカーに自己紹介をする対象生徒

(2) 英語学習アプリを活用した自己学習による全体の学習量の補充

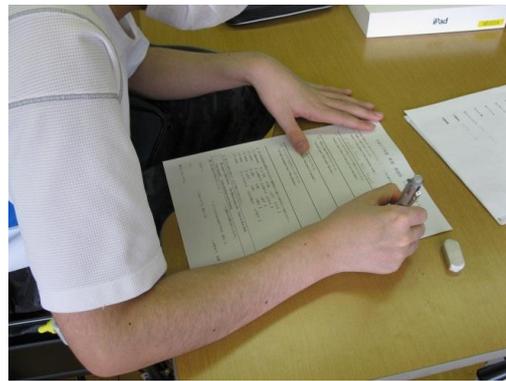
語彙力、構文力の向上をめざした自己学習を促進するため、「えいぼんたん」「英語組み立て town」の各アプリを活用した学習指導を行った。



まず、授業内で各アプリの概要と利用法を説明し、自分でそれぞれのアプリを活用して学習ができる準備を整えた。その後、家庭で定期的に行うよう一定期間を区切って学習する範囲を指示して宿題を課し、その期間後に最初に出席できた授業時に学習内容に関して英単語、英作文各5問ずつの筆記テストを課し、12月までの取組みにおいて、中学校における学習内容を終了した。



アプリの使用方法を学習する対象生徒



アプリによる学習後のテストに取り組む対象生徒

(3) 多様な相手と英語によるコミュニケーションを図る機会の確保：英語メールの交換

英語による電子メールの書き方を授業内で指導し、主に英語教員とメール交換を行った。メールの内容は教員側が与えたトピックスをテーマとして自由英作文を書くことに取り組んだ。ただし、生徒本人が「書きたい」「伝えたい」という思いをもち、主体的に学習活動に取り組めるよう、トピックスは生徒たちと相談して修学旅行等のタイムリーな話題を取り入れるようにした。さらに、英作文を行う際には、できるだけ多くの英文を書くことに重点をおき、知らない語彙でつまづく頻度を減らすために、翻訳アプリを活用するよう指導した。「平易な英語でよいのでできるだけ伝えたいことを簡単な英文で表現すること」「翻訳アプリを効果的に活用して語彙を補うこと」を意識して書く活動を続けた。

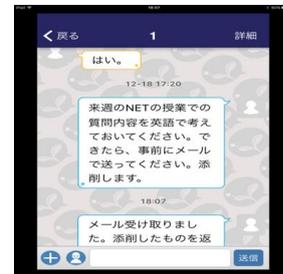
また、外部より派遣を受けているネイティブ・スピーカーともメールアドレス交換をし、メール交換を定期的を実施した。この学習では送信する英語メールを書く時に加えて、受け取ったメールを読んで内容を理解する上でも翻訳アプリを有効に活用した。



翻訳アプリを活用してネイティブ・スピーカーからの返信メールを読む授業の様子

(4) 教員や仲間とのつながりを維持するためのサポートシステムの確立

By Talk for School に登録し、英語担当教員・同一学習グループの生徒で自由にやりとりができる体制をつくった。教員側からの授業や学習内容についての連絡や生徒からの質問等のやりとりに加えて、生徒側からの身近な相談等にも活用した。



・対象生徒の事後の変化

(1) 欠席時の学習フォロー：出席時の授業や活動への参加がスムーズになった。

昨年度までは英語に関しては月平均1～2回と出席回数が少ないため、出席時に学習グループの活動に参加する上で支障があった。特に前時やそれ以前からの継続性が重要となる活動はクラス全体の流れに合わせる事が困難であった。しかし、電子メールを活用した学習フォローにより、欠席中も同程度の学習活動を

実施できることで、出席時にはスムーズにグループ全体での学習活動に参加することができるようになった。

- (2) 英語学習アプリを活用した自己学習による全体の学習量の補充：主に語彙、構文面における中学校段階からの学習のムラを補完するための自己学習をするための手段を獲得した。

対象生徒は標準カリキュラムを履修可能であり、概ね中1レベルの英語力はあるが、中学校在学時より継続的な出席ができず、単元毎に習得状況にムラがある。そして、語彙や文法等の知識面の学力を補完するためには週2回の英語授業だけでは不十分である。「えいぼんたん」「英語組み立て town」という2つのアプリの活用方法を習得し、期限を設けて範囲を指定して宿題を課すことで、具体的な目標をもって自己学習に取り組むことができた。また、定期的に定着度を確認するテストを実施し、アプリでの学習内容の定着がみられ、語彙力・構文力の向上につながった。

- (3) 多様な相手と英語によるコミュニケーションを図る機会の確保：英語教員やネイティブ・スピーカーとの英語メール交換の継続により、語彙力、表現力等、ライティング力の向上がみられた。

英語メールの書き方の指導、教員やネイティブ・スピーカーとのメール交換の継続により、よりスムーズに英文を書き、コミュニケーションが図れるようになった。また、ネイティブ・スピーカーとの定期的なコミュニケーションの機会を得たことにより、対象生徒の英語学習意欲が向上した。

- (4) 教員や仲間とのつながりを維持するためのサポートシステムの確立：By Talk for School に登録することで、クラス担任・英語担当教員・同一学習グループの生徒同士がいつでも自由にコミュニケーションがとれる環境が整い、長期欠席中にも学校とのつながりをもつことができた。

学習課題の指示や内容についての質問等がスムーズにでき、効果的に学習に取り組めた。また、長期欠席時においても教員や学習グループの生徒とつながりを持つことができ、学習面のみでなく、身近な相談等も気軽におこなっていた。

【報告者の気づきとエビデンス】

・主観的気づき

- (1) 電子メールでの学習フォロー

出席時の授業でスムーズに他の生徒と同様の学習活動に参加できることで、学習意欲が向上し、クラスの仲間と「共に学ぶ」という思いが強くなった。

- (2) 英語学習アプリを活用した自己学習による全体の学習量の補充

アプリを用いることで自己学習を無理なく継続でき、欠席により不足する全体の学習量を補充することができた。

- (3) 多様な相手と英語によるコミュニケーションを図る機会の確保（英語メール交換）

英語を「読む」「書く」機会が増え、英文読解と英作文の力が向上した。

- (4) 教員や仲間とのつながりを維持するためのサポートシステムの確立（チャットを活用したフォロー）

By Talk for School により教員やクラスメイトとつながることで、学習効率の向上や精神面のサポートにつながった。

・エビデンス（具体的数値など）

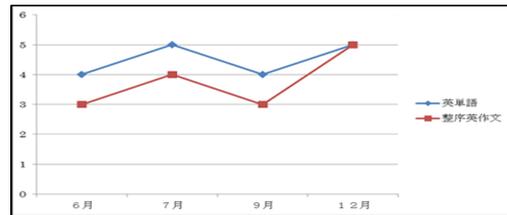
- (1) 電子メールでの学習フォロー

対象生徒は「外部講師（ネイティブ・スピーカー）の授業の前もほとんど出席できなかったけど、事前にメールで自己紹介を考えるなど、当日の準備ができていたから、皆と一緒にスムーズに参加できて良かった」と発言していた。

- (2) 英語学習アプリを活用した自己学習による全体の学習量の補充

一定の学習範囲毎に期限を設けて取り組むことを宿題として課し、期限後の最初の出席時に英単語、英作

文各5問ずつの筆記テストを実施し、年間平均7~8割の正答率だった。現在は中学の学習範囲を終了した。

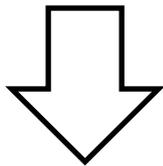


(3) 多様な相手と英語によるコミュニケーションを図る機会の確保 (英語メール交換)

【英語メールの具体例】

Hi Mr. Takeuchi
I'm ○○○○.
Can I add your Email address?
Please respond me!

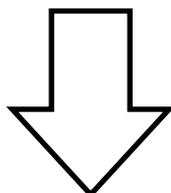
取り組み当初に対象生徒が書いた英語メール



- ・「4文」から「9文」に文の数が増えている。
- ・文法等の用法は完璧ではないが、伝えたい内容を豊かに表現できるようになっている。

Dear Takeuchi
Hello! I will go My school Trip. I'm very excited.
A destination Nagoya.
That town is famous for Hitsumabushi.
I need this food but I think can't take it.
Because this is school Trip.
Bad luck...

5月下旬に「修学旅行」をテーマ
に対象生徒が書いた英語メール



- ・英文はさらに増えて「12文」となっている。
- ・相手への質問も含めて英語表現はさらに豊かになっている。

Dear △△△△,
Hello! My name is ○○○○.
I am a student in Kisiwada Speciml-Needs School.
Thank you for your coming on July 9th. I enjoyed showing you my pictures. I am drawing new pictures now.
What's your favorite food in Japan?
Where is the place you want to go in Japan?
What is your favorite singer in Japan?
I would like to exchange e-mails with you.
Keep in touch. Thank you .

7月中旬に対象生徒が
ネイティブ・スピーカー
一宛に交流授業の感想
を書いた英語メール

Hello ○○○○, this is △△△△.

It is great to receive this email from you. I really enjoyed visiting your school and talking with you again. I also enjoyed looking at the wonderful pictures you drew, you are a great artist!

My favourite food in Japan is Sushi, especially tuna (まぐろ) and I also really like Japanese curry.

I would really like to visit Hokkaido and Okinawa in Japan.

I do not have a favorite Japanese singer, but I do enjoy listening to DJ OZMA.

Please keep in touch!

△△△△

ネイティブ・スピーカーから対象生徒に届いた返信メール

- ・ネイティブ・スピーカーからの返信は対象生徒が使用している語彙、文法レベルを考慮した英文で構成されており生徒が自力で読解できるよう配慮されているため、リーディング教材としても妥当なものとなっている。
- ・生徒が書いた質問に答え、さらに生徒に対して質問をする形で構成されており、生徒が関心をもって読み、メール交換を継続していけるよう配慮されている。

【対象生徒が書いた英語メールの変化のまとめ】

活動時期	文の数	内容
取り組み当初（5月上旬）	2～4文	・最低限の自己紹介やクローズド・クエスチョン等
5月下旬	7～9文	・テーマに沿った自己の思い等の記述 ・文法ミスや単語の羅列がみられる
7月上旬	10～12文	・進行形や動名詞、過去形の活用、オープン・クエスチョン等 ・英語メールの形式がほぼ守られる ・文法ミスの減少
12月上旬	15文前後	・相手からの返信に対してさらに返答する。 ・分からない単語は翻訳サイトを活用して調べて書き上げる。 ・単純な文法ミスはほとんどない。

*対象生徒は英語メール交換に関して「ネイティブ・スピーカーとのメール交換は楽しいし、返信がくるのが待ち遠しい。」と発言し、意欲的にメール作成や返信メールの読解に取り組んでいた。

(4) 教員や仲間とのつながりを維持するためのサポートシステムの確立（チャットを活用したフォロー）

対象生徒は By Talk for School を活用したコミュニケーションについて「メールよりも気軽に質問や相談ができて良かった。」と発言し、学習の質問や身近な相談等を必要時に発信していた。